

### 収穫終盤 農作物生育状況

十勝管内では収穫作業が終盤を迎えています。てん菜の収穫は終盤に差し掛かり、長いもなどの根物野菜の掘取作業はピークとなりました。

ゆとりみらい 21 推進協議会がまとめた農作物生育状況（10 月 15 日現在）によると、てん菜は移植・直播ともに根周が平年よりやや大きく推移し、「収穫始」も 4 日ほど早くなりました。

今年度は夏期の猛暑の影響から各作物の生育が進み、馬鈴薯が平年より 10 日ほど早く「収穫終」となった他、大豆においては平年より 2 週間ほど早く「収穫始」となりました。

秋まき小麦は、降雨の影響もありましたが「は種終」及び「出芽期」は平年並みで推移しました。

長いもの作柄は、いも径こそ平年を下回ったものの、いも長、いも重については平年を上回り、乾物率も進んでいる状況です。10 月 7 日には当農協にて坪堀調査を実施し、重量、収量ともに前年を上回る見込みとなりました。また、10 月 13 日に開催された長いも生産者会議では、4 年産の販売状況や 5 年産の作付・作況等の情勢報告ならびに取扱計画の協議が行われました。

収穫期が終盤を迎えたことで疲労もピークとなり、交通事故・農作業事故が多くなる傾向があります。日の入が早まるにつれて視界も悪くなるため、無理な作業は避け、ゆとりをもって収穫作業を行うように心がけましょう。

### 青年部食育推進事業

幕別町食育推進事業が、10 月 23 日に当農協青年部の協力のもと開催され、札内南小学校の 3 年生 98 名が参加しました。（幕別町教育委員会主催）

今年度は生産者の方に、てん菜圃場をお借りして収穫体験・青空教室・機械の見学会をそれぞれ行いました。

収穫体験では、児童たちは圃場の中から大きなてん菜を見つけては力いっぱい引き抜くという作業に夢中になり、青空教室では、〇×クイズを通して、てん菜の栽培方法や特性について学びました、機械の見学会では、青年部員が説明をしながら実際に機械を動かしながら始めると、児童たちは目を丸くして見入っていました。

食育事業を通して児童たちからは、「1 日にどのくらいの量が収穫できますか」「てん菜の仲間、ほうれん草以外に何がありますか」といった質問があがるなど、意欲的に学ぼうとする姿勢が印象的でした。



## まくべつ産業まつり 野菜即売会

10月8日、幕別町の秋の一大イベントである「第46回まくべつ産業まつり」が百年記念ホール特設広場にて開催されました。(産業まつり実行委員会主催)

当日は天候が良く、青空が広がる絶好の行楽日とで、秋の実りを味わいにきた多くの来場者で賑わいを見せていました。

当組合においては、馬鈴薯、長ネギ、南瓜、長いも、大根といった季節を代表する作物の野菜即売会を行いました。

会場には野菜即売会を心待ちにしているお客様が多く、販売開始前から店頭には長蛇の列ができていました。「野菜即売会を楽しみに会場に来ている」と両手いっぱい袋を下げているお客様や、「遠方の友人に新鮮な野菜を届けたい」と地方発送を利用するお客様で溢れ返り、用意した品物は全て完売するなど大変好評をいただきました。

ステージショーでは、幕別清陵高校の吹奏楽部と軽音楽部による合同パフォーマンスの他、飛距離を競う恒例の「女子かぼちゃ投げ大会」などが行われました。ステージ以外では、幕別産和牛試食販売やパークゴルフお楽しみ大会といったイベントが盛り沢山で、終始活気が溢れる産業まつりとなりました。

